

マーケットフォーカス（ブラジル市場） 2014年9月号

2014年9月5日

市場概況・今後の見通し

【8月の市場概況】（為替市場＜ブラジル・レアル/円＞・債券市場）

ブラジル・レアル/円は、円安・ブラジル・レアル高となりました。

ブラジル・レアル/円は、10月の大統領選挙に向けた世論調査で野党候補の支持率が上昇したことなどを好感して、上昇しました。

ブラジル2年国債利回りは、低下（価格は上昇）しました。

ブラジル2年国債利回りは、2014年4-6月期実質GDP（国内総生産）成長率の悪化などを受けて景気減速懸念が強まったことなどから、低下しました。

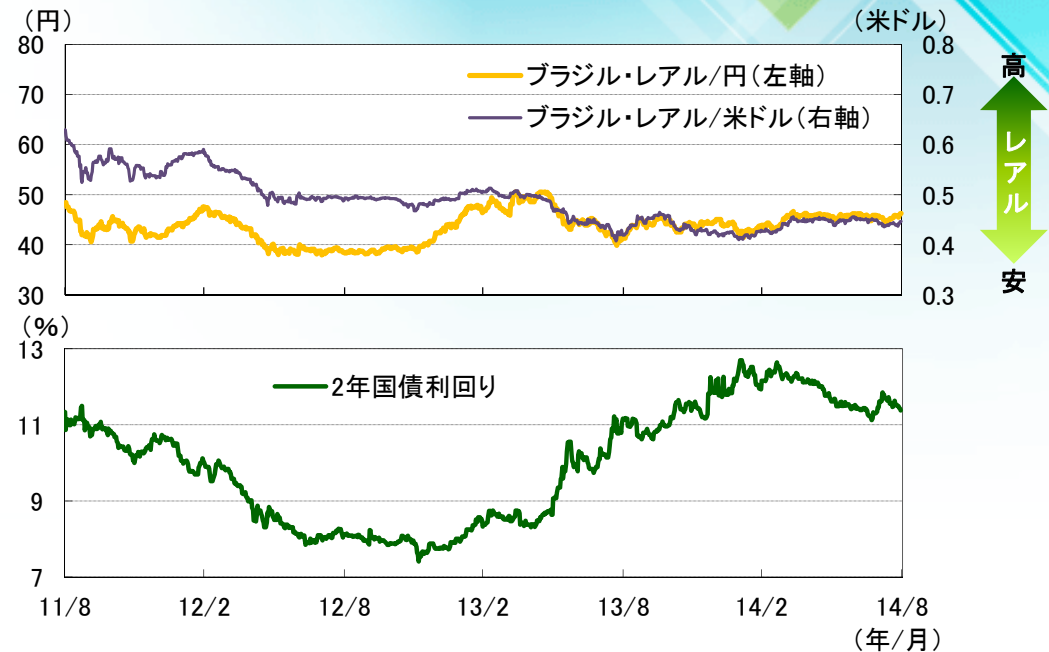
【今後の見通し】（為替市場＜ブラジル・レアル/円＞・債券市場）

ブラジルの2014年4-6月期実質GDP成長率<sup>※1</sup>はマイナス成長となり、景気の減速傾向が鮮明となっています。インフレ率<sup>※2</sup>は、賃金上昇などを背景に高止まりが続いており、個人消費<sup>※3</sup>も足もと減速が続いています。一方、企業活動においては製造業景況感がやや持ち直し、サッカー・ワールドカップ開催などで低迷していた生産<sup>※4</sup>にも底入れの兆しが見えつつあります。先行きについては、海外の景気回復を背景に輸出の持ち直しが期待されるものの、内需の回復には時間を要するものと見られ、景気は当面低調に推移する見込みです。（※1:2ページ目の左図参照、※2:5ページ目の左図参照、※3:3ページ目の右図参照、※4:2ページ目の右図参照）

ブラジル・レアル/円は、ブラジルの大統領選挙に向けた政権交代への期待などがレアルの支援材料となるものの、ブラジル景気や地政学リスクへの懸念が根強く残ることから、現状水準を中心としたもみ合い推移を見込みます。

ブラジル2年国債利回りは、インフレ率が高止まりを続けると見られるものの、先行きの景気減速懸念が根強いことや、政策金利も当面据え置きが見込まれることから、現状水準を中心としたもみ合い推移を見込みます。

為替市場・債券市場の推移（2011年8月末～2014年8月末）



【8月のマーケットデータ】

	8月末	7月末	騰落率	最低	最高
ブラジル・レアル/円 【単位:円】	46.30	45.77	1.16%	44.46	46.30
2年国債利回り	11.380%	11.463%	▲0.083	11.380%	11.847%

※為替のブラジル・レアル/円は本邦営業日ベース、騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高、債券騰落率は利回りの変化幅

【9月の予想レンジ】

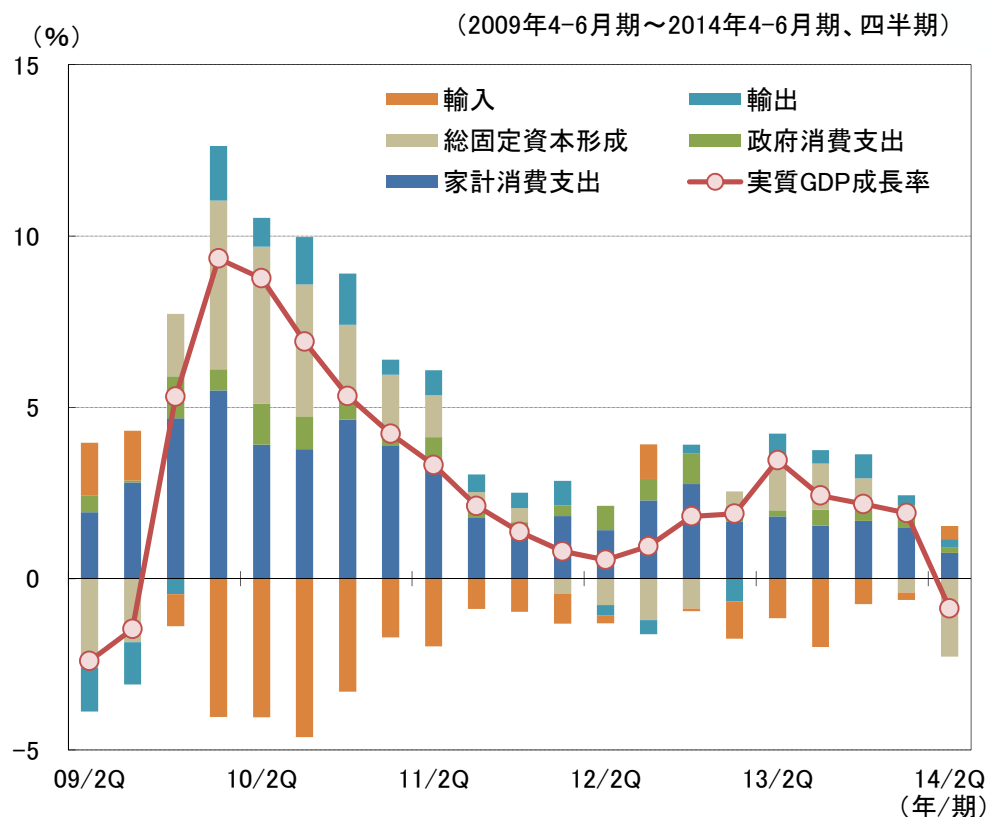
ブラジル・レアル/円	43円-49円
2年国債利回り	11%-12%

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

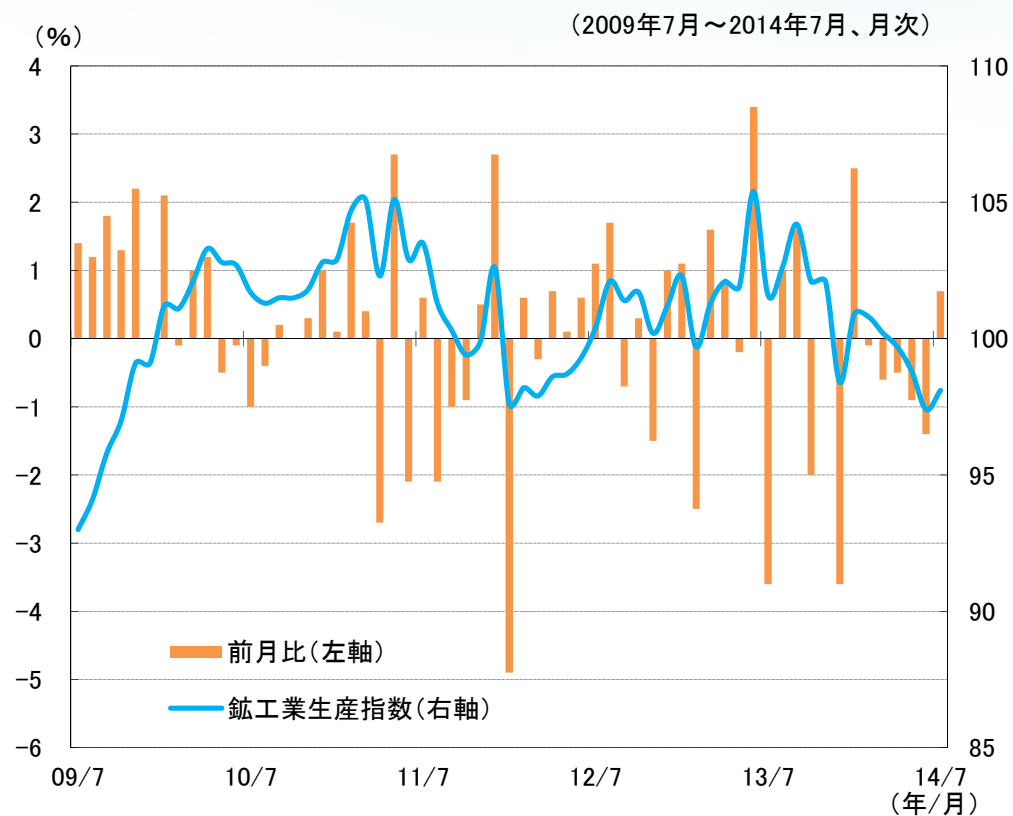
## ブラジル経済①

○2014年4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前年同期比▲0.9%に減速、総固定資本形成の大幅減少がマイナスに寄与した。  
○7月の鉱工業生産は、前月比+0.7%と6カ月ぶりにプラスとなった。

### 実質GDP成長率寄与度(前年同期比)



### 鉱工業生産指数



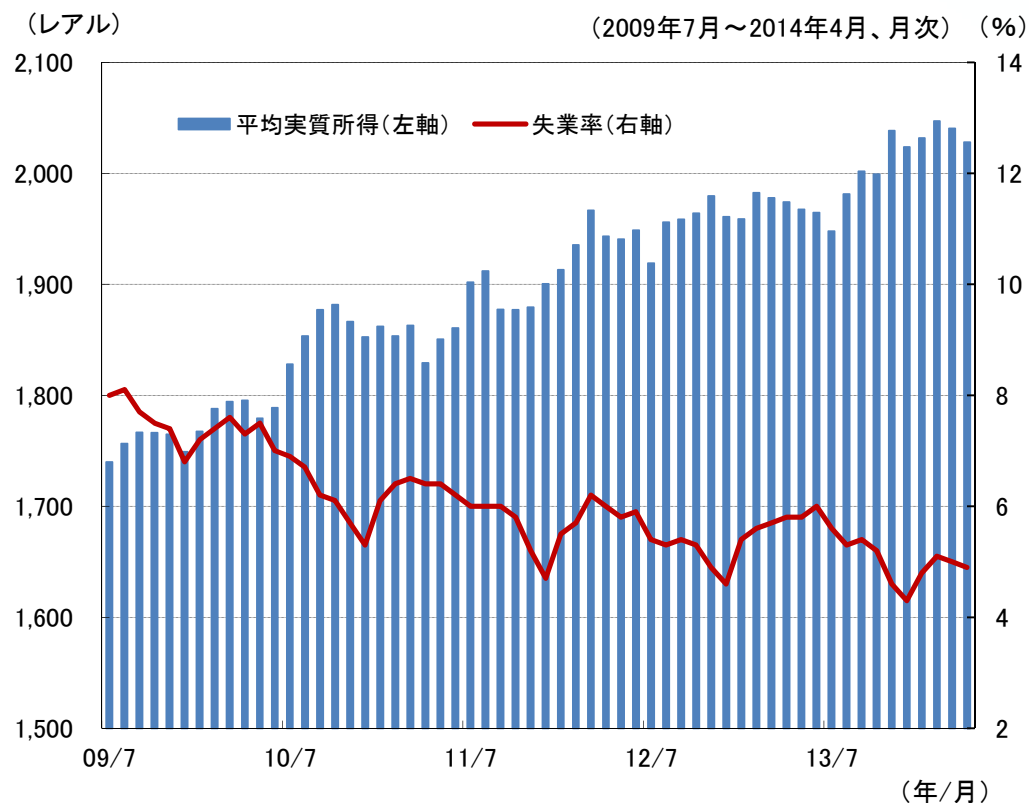
※2Qは4-6月期を意味し、例えば09/2Qは2009年4月から6月の3カ月間を示す。  
※統計上の不突合により、各項目の和が合計に一致しない場合があります。  
(出所)IBGE(ブラジル地理統計院)のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※季節調整済み  
(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

## ブラジル経済②

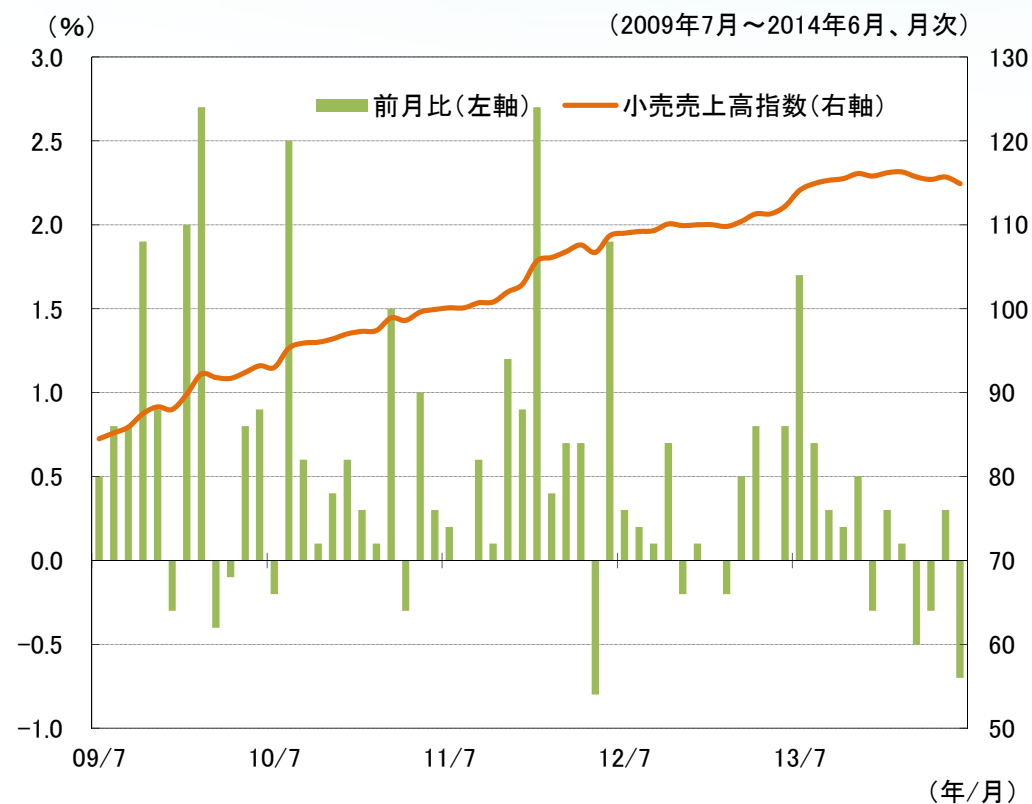
○4月の失業率は前月比▲0.1%の4.9%と2カ月連続で改善、求職者の減少が失業率を押し下げた。  
 ○6月の小売売上高は前月比▲0.7%と約2年ぶりの大幅な落ち込みとなった。

### 平均実質所得と失業率



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### 小売売上高指数



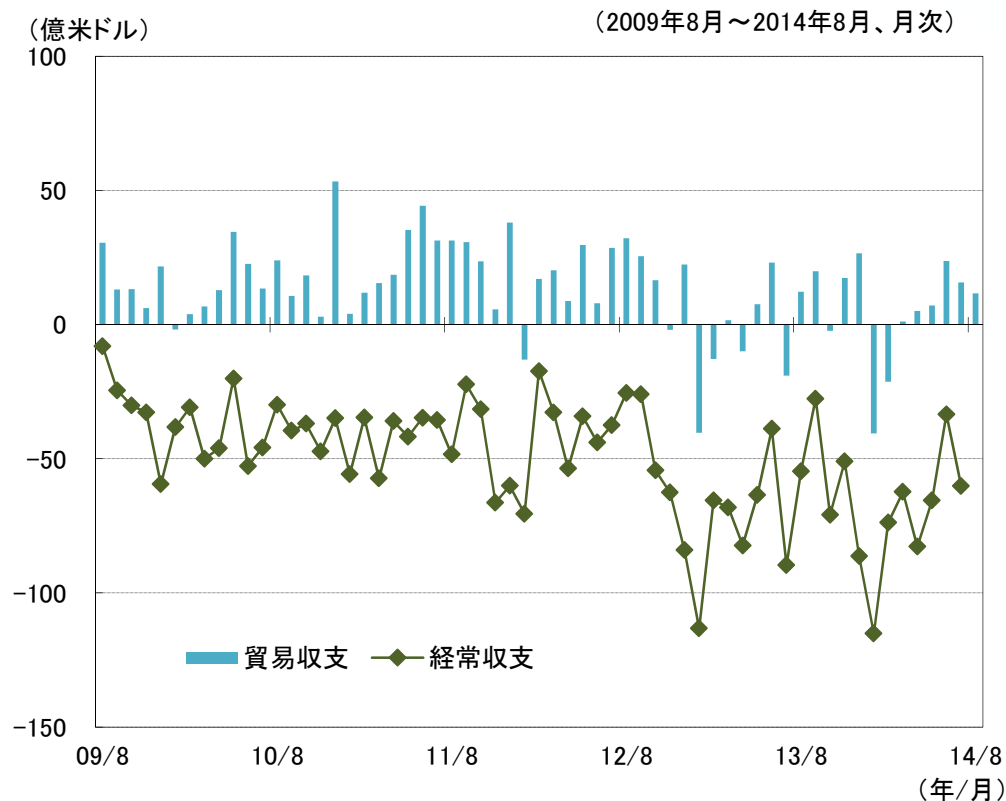
※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

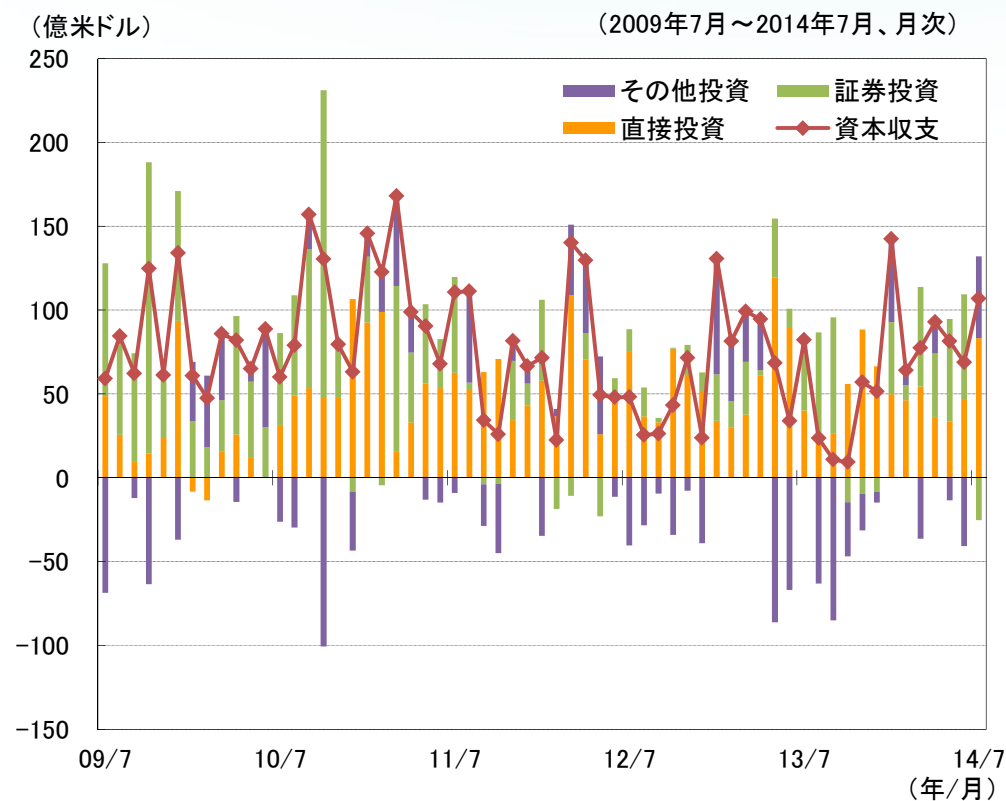
### ブラジル経済③

○8月の貿易収支は11億6,800万米ドルの黒字となった。7月の経常収支は60億1,800万米ドルの赤字となった。  
○7月の資本収支は前月比+38億1,000万米ドルの106億8,900万米ドルの黒字となった。

#### 経常収支・貿易収支



#### 資本収支



※経常収支は2014年7月までのデータを使用。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

(出所) BCB(ブラジル中央銀行)のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

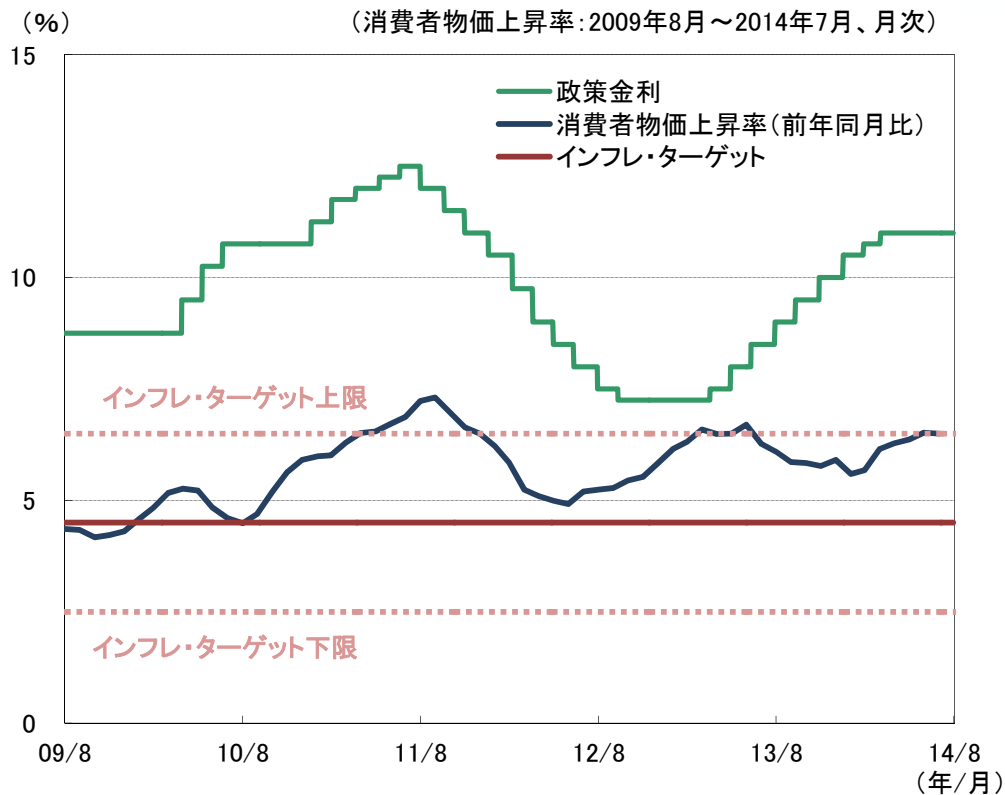
## ブラジル経済④

○BCBは9月の金融政策会合で政策金利を据え置いた。7月の消費者物価上昇率は前年同月比+6.5%と、インフレ目標の上限水準となった。  
 ○ブラジル株式は、大統領選挙の世論調査で野党候補が善戦していることを好感し、約1年7ヵ月ぶりの高値で月を終えた。

### 政策金利と消費者物価上昇率

(政策金利: 2009年8月末～2014年8月末、日次)

(消費者物価上昇率: 2009年8月～2014年7月、月次)



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### ボエスパ株価指数

(2009年8月末～2014年8月末、日次)



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

**【ご留意事項】**

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。